

下水道事業会計状況調書

I 事業概要

公共下水道事業においては、昭和56年度から公共下水道の整備に着手して以来、事業の推進に努めており、平成28年度についても、老朽化した施設について改築更新を行うとともに、大雨災害の防除を目的とした浸水対策を行う。

また、個別排水処理施設事業においては、公共下水道による整備区域以外の区域について、生活排水対策の推進のため、市が浄化槽の設置をすすめており、平成28年度においても、住民の要望に基づき浄化槽の設置を行う。

II 事業内容

1 公共下水道事業

管渠については、中央町地区及び若山町地区の浸水対策として雨水管渠の新設工事を行うほか、既設管のたるみが著しい常盤町地区の汚水管渠の改築更新などを行う。

若山浄化センターについては、供用開始から26年を経過し、主要設備機器の老朽化が進んでいることから、登別市下水道長寿命化計画に基づき、前年度に引き続き、機械設備等の改築更新などを行う。

管渠建設費 356,585千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：管渠建設費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 257,043千円

(2) 委託料 65,720千円

(3) その他 33,822千円

処理場建設費 218,837千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：処理場建設費)

(1) 工事請負費 44,000千円

(2) 委託料 161,000千円

(3) その他 13,837千円

2 個別排水処理施設事業

浄化槽5基の整備を計画する。

個別排水処理施設整備費 10,600千円

(款：資本的支出 項：建設改良費 目：個別排水処理施設整備費)

(内 訳)

(1) 工事請負費 10,600千円